

ふくちやまし

# 議会だより

2020  
11



福知山城

福知山市イメージキャラクター  
ドッコちゃん

■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■令和2年11月発行 No.128



「田んぼアート」居母山クラブ  
コロナに負けるな  
マスクをしたクマ(夜久野町直見)

市議会ホームページの  
アクセスはこちらから



昭和47年度以降48年連続の黒字決算

(令和元年度 決算審査) ..... 4~7

ここが聞きたい！一般質問各会派から19議員が登壇 ..... 11~20

福知山市議会基本条例の検証評価結果 ..... 22~23

◇新型コロナウイルス感染症の第2波とインフルエンザの流行との同時到来に備え、市民への感染拡大を防ぐ

**新型コロナウイルス感染症対策関連議案を可決!**

◇令和元年度福知山市一般会計など  
**15会計の決算認定!**

9月1日から10月30日までの60日間にわたって9月定例会を開催しました。この定例会では、一般会計補正予算など32議案が市長から提案されました。このうち、「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」は9月10日に、新型コロナウイルス感染症対策や荒河堤防線の市道整備などの補正予算、条例の改正などの議案は、9月25日に全議案原案どおり可決しました。

さらに、令和元年度決算の認定については、決算審査委員会において、所属別質疑、総括質疑、自由討議、「政策提言に関する」執行部との意見交換会を行い、10月30日に全議案可決および認定しました。

また、本定例会の一般質問は、9月10日、11日、14日の3日間で行われ、19人の議員が質問を行いました。

なお、質問については、不採択となりました。

また、本会議には、延べ41人の傍聴がありました。

## 9月定例会で決まった主な案件

### 補正予算

(万円未満切捨)

#### ◇新型コロナウイルス感染症関連

- ・インフルエンザ予防接種事業（対象者の拡充と自己負担金の軽減） 8002万円
- ・福知山市特例定額給付金事業（国の給付対象外の人に10万円） 5021万円
- ・福知山市事業者チャレンジおうえん事業（業種・業態転換への支援） 1500万円
- ・感染リスクが高い職場の従事者への慰労金支給事業（保育園・くりのみ園・放課後児童クラブ） 3957万円

◇道路改良事業（市道荒河堤防線の整備） 1000万円

◇長田野工業団地利活用増進事業（緑地環境整備）（市ノ谷公園の整備） 820万円

◇民間保育所運営事業（延長保育・一時預りなどの支援） 731万円

### 条例の一部改正

◇福知山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

### 令和元年度一般会計・特別会計・企業会計決算の可決および認定

### その他

- ◇「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」
- ◇物品の取得（防災行政無線戸別受信機、小型動力ポンプ付積載車、タブレット型端末、電子黒板機能付き大型提示装置）
- ◇京都府中・北部地域消防指令事務協議会規約に関する協議（消防事務の一部共同化）

### 人事議案

◇教育委員の任命(1名)、人権擁護委員の候補者の推薦(2名)



■インフルエンザ予防無料接種事業

■大江分院における遠隔医療のパイロットスタディ実施事業など

2億7930万円の補正予算可決!!

委員会審査報告

福知山マラソン大会支援事業

**問** 今回を第30回記念大会としていたが、来年度行うのか。  
**答** 来年度を30回記念大会としたい。

**問** 補正後の400万円の使いは。  
**答** 11月23日に行う予定で仮押さえしていた機材などのほか、事務局運営のための経常的な経費である。



第29回福知山マラソン大会（昨年度）

**インフルエンザ予防接種事業**  
**問** 拡充される無料接種の対象者のうち、『64歳以下で基礎疾患をもつ人』の基礎疾患の種類と、基礎疾患があることの確認方法は。  
**答** 心血管疾患、高血圧、糖尿病、慢性呼吸器疾患、肝疾患、腎疾患、悪性新生物、その他主治医などが認める場合を基礎

疾患の対象とする。また、疾患の有無は、かかりつけ医に確認していただく。

旧医師会館解体撤去事業

**問** 解体に至る経緯と跡地の利用方法は。  
**答** 平成29年度にサウンディング型市場調査を実施し、6者の施設見学があり、うち1者からアイデアの提案があった。しかし、自身による建物の活用でない提案であったため、解体する方向で検討し、令和元年度に解体設計業務を実施した。跡地については、市の所有地のまま、平面駐車場として活用する予定である。



解体される旧医師会館

**KTR支援事業**  
**問** KTRとWILLERの事業区別と事業全体の費用の総額は。  
**答** KTRは鉄道・列車を管理し、WILLERは列車を借り受け運行している。また総額については、KTR分がIC対応車内補充券発行機の導入費用について5668万4千

円、観光列車の改修費用が1567万6千円である。京都府が2分の1を負担し残りを沿線市町が割合に応じて負担している。

バス・タクシー事業者等緊急支援事業

**問** 路線バス・タクシー・自家用有償旅客運送事業者それぞれに対して、どのような対策か。  
**答** 路線バスについては約15万円で車内の抗菌処理、タクシーは5万円で車内に抗菌処理装置の取り付けなどである。また、自家用有償旅客運送は、3千円で除菌スプレーなどの購入費用である。

福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト

**問** 学習ソフトの選定に係る福知山公立大学との連携は。  
**答** 公立大学情報学部との全面的な協力を得て、業務委託の形で、学習ソフトの仕様が概ね固まってきたところである。数多くあるソフトの中から、本市の教育に最適であり、かつ、情報学部との連携がしやすい学習ソフトの選定を進めている。

病院事業における遠隔医療のパイロットスタディ実施事業

**問** ひとり暮らしの高齢者などはPCなどの操作が難しいが、参加者の想定は。  
**答** 機器の操作は、一般のテレビで病院からアクセスしてオンライン診療ができる装置や、血圧測定をすれば無線で病院にデータが送信され患者の状態が把握できるなど、高齢者などにとっても操作が易しい機器の導入を考えられている。参加者は、大江分院の通院患者や訪問診療の中で、オンライン診療に同意いただける方を想定している。

**反対の討論**  
 なし

**賛成の討論**  
 新型コロナウイルス感染症に対し、主に地方創生臨時交付金を活用し、市民生活、地域経済を支える内容のものである。生活者、事業者、また、災害対応も含め各分野の実情をくみ取り、予算措置が講じられている。

**審査結果**  
 全議案賛成で原案可決



令和元年度  
決算報告

# 昭和47年度以降 48年連続の黒字決算

## 基金残高は合併後最大の109億5千万円

### 所属別質疑

#### 関係人口創出・拡大事業

**問** この事業の成果と今後の継続は。

**答** 本事業は、福知山公立大学に委託し、「ふるさと再発見ツアー」など八つの事業を実施したものである。成果としては、参加者のうち2人が本市に移住された。また、移住体験や農作業体験など、地域の方との交流が高い評価を得られた。今後の継続については、この事業で得られた教訓や成果を関連する分野の施策に生かしていく必要がある。例えば都市部から本市の魅力を発見していただく場や、「暮らし体感ツアー」などに引き継いでいきたい。

#### 個人市民税と法人市民税

**問** 個人市民税と法人市民税が増加した要因は何か。

**答** 個人市民税については、所得割の納税義務者が145人増加、課税標準区分の200万円超の納税義務者が327人増加したためと考えている。また、税制改正により配偶者特別控除額について、国税控除額である38万円の配偶者給与収入の上限が103万円から150万円に引き上げられたことも増収要因である。法人市民税については、長田野企業の年間製造出荷額が4年連続で過去最高を更新した。業種別で増減があるが、特定の製造業者による業績の伸びが大きく影響したことが増加の要因である。

#### RPA導入事業

**問** 事務処理短縮時間の積算方法と今後の展望は。

**答** \* RPA導入前に職員がマウスやキーボードにより直接入力作業などを行ってきた総時間から、RPA設定作業や検証にかかる時間を差し引いた時間を削減時間としており、延べ432時間の削減となった。導入初年度は市役所の内務事務に適用し効率化を図ってきたが、今年度は、窓口業務などでの大量の紙データを、電子データ化することで、RPAの適用を進め、事業の拡大を図っていきたい。

入れできないことがあり、共働きの家庭にとって今後の課題と考えている。

#### プレミアム付商品券事業

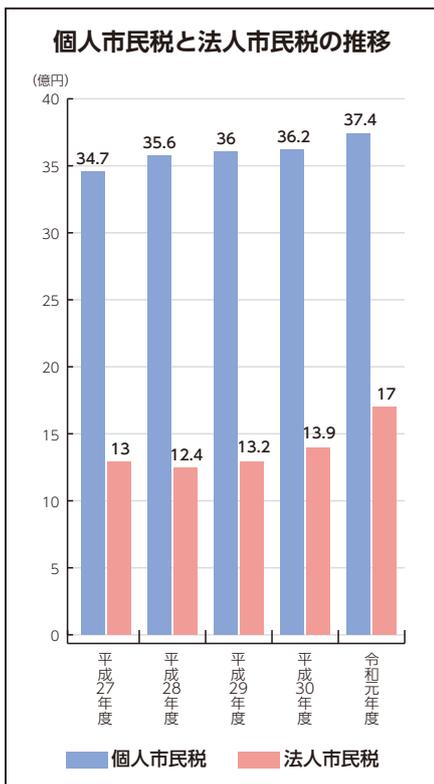
**問** 本事業における、本市の取り組みの実績や効果は。

**答** 事業目的に福祉的な観点があることから、買い求めやすいことを目指して、市内29の郵便局と五つの簡易郵便局を販売業務の委託先に選定し、計34カ所販売した。また、本市では未申請者に対する再勧奨にも取り組み、引換券申請率が48%で、他の自治体に比べて高い結果となった。このことから、消費税率の引き上げが低所得者、子育て世代の消費に与える影響の緩和や、地域における消費の喚起に少しでも高い効果が得られたと考えている。

#### 大江地域学校 統合整備事業

**問** 2カ年継続の校舎増築工事に係る令和元年度の進捗状況と、スクールバス運行に係る検討状況は。

**答** 工事は順調に進捗しており、令和3年4月の開校に向けて予定どおり進んでいる。



また、スクールバスの運行経路などについては、大江地域学校統合準備委員会に提案しており、現在は統合準備委員会において検討を進めていただいている。



統合に向け工事が進む小学校棟

### ■3市連携まちづくり互近助サミット

**問** 本事業の内容は。

**答** 3市連携まちづくり互近助サミットは、朝来市、丹波市、福知山市の3市で組織する「連携推進連絡会議まちづくり部会」において取り組んだ事業である。令和元年12月に丹波市で3市の地域協議会や自治協議会などの地域づくり組織の関係者、市職員など85名の参加のもと、活動報告会や地域の担い手の育成など地域が抱える課題について意

見交換を通し、交流を図った。

### ■乗合タクシー導入モデル事業

**問** 半年間のデータ分析の結果と、予算額と決算額に差異がある原因は。

**答** 令和元年10月から令和2年3月までに、延べ100回の利用があり、稼働率は13%、乗合率が1・56人、収支率が18・3%であった。予算と決算の差については、当初予算では2カ所で乗合タクシーを行う予定であったが結果的には1カ所で行うことになったためである。



「姫髪乗合タクシー」出発式

### ■公設地方卸売市場事業

**問** 福知山市公設地方卸売市場のあり方検討調査業務の結果と今後の対策は。

**答** 調査内容は卸売市場で扱

われている品物がどこから入ってきて出ているか、市内の流通にどれくらい寄与しているか、また、建物自体の評価はどうかなどを調査した。結果はセリ売りよりも相対によるものが多く、品物は市内だけでなく近隣市からも入ってきている。施設に関しては老朽化が進んでいるとの結果が出た。今後の対策としては、今年度も調査を継続しているため調査結果が全て出たのち、あり方について検討会を設置するなど今後検討していく。

### ■介護保険事業

**問** 安心生活見守り事業の委託業務において、社会福祉協議会に委託している業務の内容は。

**答** 専門のオペレーターを配置して、健康・介護・福祉に係る相談などの対応と、24時間365日を対象とした緊急通報の受付である。

**問** 通報装置の設置状況と緊急通報の実績は。

**答** 令和元年度末時点の設置台数は865台で、エリア別の内訳としては、旧福知山572台、旧三和町80台、旧夜久野町107台、旧大江町

106台である。また、年間で146件の緊急通報を受け、うち32件が救急出動につながるものであった。

### ■水道事業

**問** 給水人口、給水量は減少しているものの、53万8909円の純利益になっている評価は。

**答** 業務を取り巻く状況としては、昨年度に比べ給水人口は615人の減少で、それに伴い給水量は約2%減の924万1千m<sup>3</sup>になっている。このような状況の中で、設備関係では老朽化した配水管などの布設替工事を進めた。収支の関係では収入として全体で3・2%の減少で、支出では全体で1・4%の減少である。昨年度からは減少したが、当年度は53万8909円の純利益となった。また、令和元年度から上下水道部では、上水道事業等包括的民間委託を導入し、さらなる経営改善や市民サービスの向上を図ることができた。

### ■病院事業

**問** 市民病院および大江分院における患者給食などの業務

支出の内容は。

**答** 食事ごとの単価契約により支出しており、市民病院では一般食31万4869食、特別食335食、大江分院では一般食1万9928食および保存食の管理について、実績に基づいて支出している。

**問** 地産食材の使用率は。  
**答** 米は100%、その他の食材は1%から2%程度である。

### 総括質疑

#### ■一般会計の歳入

**問** 市税の徴収率が伸びた要因は。

**答** 新規の滞納を増やさない取り組みとして、市役所や各支所の窓口で、キャッシュカードで、簡単に口座振替の申し込みができるペイジーの手続きやコンビニ納付の推奨、さらには、令和元年7月からスマートフォンアプリで、納付ができる環境を整備した。また、「広報ふくちやま」やホームページなどで周知すること、納期内納付率が上昇し、新規滞納者の抑制が図れた。市税の滞納案件は、京都地方税機構において、文書や

電話による催告、個別事案に応じた積極的な滞納整理や、的確な滞納処分を公平公正に行い、徴収率が上昇したと考える。

### ■経常収支比率

**問** 経常収支比率が改善したことの分析と要因は。

**答** 主要要因は、「e・ふくちやま」会計を平成30年度末で廃止し、民間に事業継承したこと、退職手当や生活保護扶助費事業の減少、子どもの数の減少による民間保育所の委託費や児童手当、ふくふく医療などの事業費の減少が、経常収支比率の改善につながった。内的要因としては、庁内ネットワーク機器をリース契約により使用していたが、平成30年度末に、一部を残存価格で買い取ったことで、令和元年度のリース料負担が軽減した。また、三和・夜久野・大江の各指定管理施設の運営費に関して、過疎基金を活用することで、一般財源の軽減につながったことなどが挙げられる。

### ■義務的経費

**問** 扶助費について、その動

向と対応は。

**答** 扶助費は、一般会計決算の歳出総額のうち、19・1%を占めており、合併以降、毎年度ほぼ一貫して増加し続けている。中期財政見通しにおいても今後増加を続けると見込んでいる。ただし、扶助費のうち82・3%は、国の制度事業であり、増減をコントロールすることは困難であるので、事業の効率的・効果的な展開を図る努力を続けていくことが必要である。

### ■ゴミの収集・処分

**問** 令和元年度のゴミの収集・処分量は、基本計画の目標に対してどうであったのか、

また、その要因は。

**答** 一般廃棄物処理計画においては、令和元年度の処理量の目標を2万4256トンとしているが、実績は、2万4620トンであり、約364トン目標に届かなかった。要因の詳細な調査分析はできていないが、令和2年3月の処理量が、前年同月の処理量と比較すると149トン増加している。このことは、新型コロナウイルス感染症対策により、学校が一斉休業するなど、市民の在宅時間が増えたことも、家庭ごみの増加要因の一つであったと考えている。

ごみ処理量実績の推移  
(平成28年度～令和元年度)



### ■補助金適正化の推進

**問** 令和元年度の補助金の取り組み状況は。

**答** 予算編成などにおいて、現状の分析と課題整理を行い、課題別に大きく五つに分類している。補助金交付が長期化している課題については、必要性や効果を検証し、委託費に変更し実施している。市が事務局を担っていることの課題は、事務局機能を外部へ移行することであるが、それが困難な場合は市直営で実施している。運営費のみを補助対象としている課題については、事業費補助に転換し、要綱の改正も行った。根拠法令が存在していない課題については要綱などを作成することとし、必要な根拠規定を整理している。補助率が高い課題については、原則2分の1以内に見直すこととしており、見直しをするにあたっては、補助金削減の視点ありきではなく、真に必要な補助対象と量を把握し、補助対象団体などの理解、意見などを踏まえた上で取り組む。

### ■投資的経費

**問** 大幅に増加した投資的経

費の要因は何か。

**答** 普通建設事業費の補助事業および単独事業、災害復旧事業費の全てが増加し、13億5千万円の増となっている。中でも普通建設事業費の補助事業が前年度対比で、10億3千万円と77・8%の大きな増加となった。補助事業としては、総合的な治水対策関連で、調節池整備事業や川北橋の延伸工事に係る社会資本整備交付金事業などが進捗したことによる。また、「知の拠点」推進事業や地域間交流促進ネットワーク事業を進めたことも増加の要因となっている。単独事業については、前年度対比で1億円と3・7%の増となっており、「知の拠点」推進事業が大きく増加したことが理由の一つである。このほか、総合福祉会館の耐震化や設備撤去などを行った「e・ふくちやま」清算事業も増加要因と言える。

### ■特別会計

**問** 石原土地区画整理事業特別会計について、これまで、販売促進をどのように行ってきたのか。

**答** 施行地内の保留地販売業

**国民健康保険・介護保険**



石原土地区画整理事業による宅地造成地

務は、平成11年度より、保留地販売を開始し、平成24年度以降は、資産活用課において行っている。販売を促進するためには、より多くの土地購入希望者に土地情報を提供し、知っていただくための広報活動が重要である。購入希望者を待つだけでなく、積極的に物件紹介などの情報発信を行い、早期売却に努めている。その方法として、住宅メーカーなどの不動産事業者への訪問や、新聞への広告の掲載、市ホームページへの記事掲載、ヤフーの公有財産売却システムを利用したインターネットによる入札販売など、広くPRを行っている。

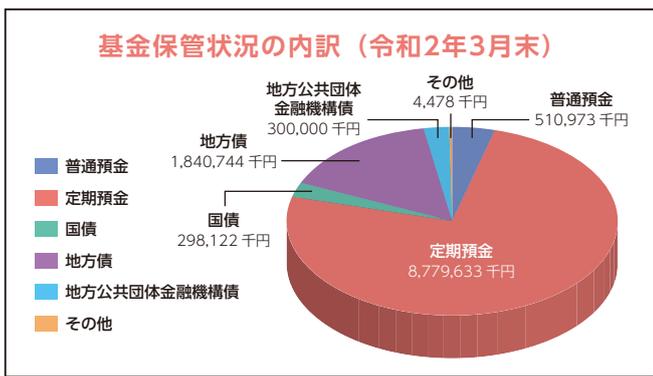
については、高齢者や低所得者を考慮する必要がある。そこで、令和元年度は、どのように保険料を定めたのか。

国民健康保険については、低所得者に対して、均等割、平等割といった応益割に対する軽減制度があり、前年度の所得に応じて、軽減を行っている。この低所得者に対する軽減額を、令和元年度は、3億7750万円程度と見込み、国民健康保険事業基金を取り崩し、保険料率を据え置き、一人当たり平均保険料額を10万3953円とした。介護保険料については、平成30年度から令和2年度までを計画期間として算定している。令和元年度の保険料金額は、平成30年度に決定した年額7万1792円として、この基準額を元にして13段階の保険料を定めている。さらに低所得者の方には、消費税を財源として、公費負担により保険料を軽減するなどの対応を行っている。

**基金**

令和元年度を通じて基金全体の管理と運用状況はどうであったか。

令和元年度当初残高は、約115億7千万円で、年度末残高は約117億8千万円となっている。この1年で元金の積み立ては約18億7千万円、利子積み立てが約2千万円、取り崩しが約16億8千万円、これらの増減の結果、約2億1千万円の増加となった。保管の形態としては、一部を除き年度中に新規に設置したものを含め38基金を一括管理しているが、3月末の時点ではこのうち約24億4千万円を<sup>\*</sup>有価証券で保管している。



**決算審査からの課題を市政・予算に反映する  
予算運動型の決算を目指して**

**自由討議**

次の六つのテーマが提案され、活発な自由討議を行いました。  
①石原土地区画整理事業特別会計早期閉鎖に向けた販売強化  
②有償運送などによる公共交通維持策の今後の展開  
③災害に対する、早期復旧工事対策について  
④災害時要配慮者避難支援事業の更なる推進  
⑤コロナ禍による移住・定住の促進と空き家問題について  
⑥行政財産から普通財産に用途替えを行った土地と建物の管理のあり方について

**政策提言**

自由討議のテーマから、次の二つを執行部への「政策提言」とすることに決定しました。  
\*「石原土地区画整理事業特別会計早期閉鎖に向けた販売強化」  
\*「災害時要配慮者避難支援事業の更なる推進」

**意見交換会**

政策提言に基づき、執行部との意見交換会を行いました。この「意見交換会」は翌年度以降の予算編成に反映することを目的に行うものです。

**反対討論**

議第74号の一般会計では、住民サービスの後退につながる支所職員の削減や就学援助引き下げによる受給者の減少などがある。また、議第85号の後期高齢者医療事業では、制度上、受けられる医療が差別される仕組みである。議第86号の水道事業は、包括民間委託方式導入の初年度決算だが、当初の目標に到達していない。よってこれらの議案については反対である。

**賛成討論**

一般会計では、法人住民税が、当初予算を超え、市税収入の増額となった。また、歳出の義務的経費のうち、人件費は前年対比3・1%の削減となっており、公債費が、前年度対比11・4%と増加しているが、積極的な繰上償還によるものである。投資的経費は、前年度対比23・5%の増額だが、治水対策などの安全・安心事業の推進と云える。よって、全議案について賛成する。

**審査結果**

全議案可決および認定

### 総務防災委員会

#### ■物品の取得（危機管理室）

**問** 6月議会購入時と同じ業者からデジタル式戸別受信機を購入するのなら、随意契約は考えなかったのか。

**答** 広く業者を募集する考えで一般競争入札にした。

（全員賛成で可決）



デジタル式戸別受信機

#### ■物品の取得（消防本部）

**問** 購入する小型動力ポンプ付積載車の配置先分団は。

**答** 中央、修斉、西中、下六、金谷の5分団である。

**問** 車両には耐水および防水性能はあるのか。

**答** 浸水害対応仕様ではないが、消防団には浸水時の活動要領に基づく活動で安全に対応してもらっている。

（全員賛成で可決）

#### ■京都市中・北部地域消防指令事務協議会規約に関する協議

**問** 7市3町が広域的に指令システムを共同運用すること

で、迅速な出勤は維持できるのか。

**答** GPSなどで瞬時に場所が分かるシステムの導入や、事前の十分な研修により、大きな問題はない。

（賛成多数で可決）

#### ■教育厚生委員会

**福知山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

**問** 居宅介護支援事業所の管理者を「主任介護支援専門員であること」とする要件の猶予期間の根拠は。

**答** 主任介護支援専門員の資格を取得するためには、介護支援専門員として5年以上の実務経験が必要であることを踏まえて、国の省令改正の経過措置期間が令和9年3月31日まで延長され、約6年間の猶予期間が設けられたものである。



**問** 福知山市における居宅介護支援事業所の管理者の現状は。

**答** 福知山市にある27の事業所のうち、14の事業所では既に主任介護支援専門員が管理者となっている。

（全員賛成で可決）

#### ■物品の取得（教育総務課）

**問** 公告や入札はどのような日程で行われたのか。

**答** タブレット型端末などについては令和2年9月18日に公告し10月7日の入札、電子黒板機能付き大型提示装置については令和2年9月24日に公告し10月9日の入札である。

**問** 福知山市財務規則第116条の規定に則り、いずれも十分な日数を設定している。

**問** 応札者が1者になった場合には入札のやり直しなどをしていないのか。

**答** 一般競争入札においては、公募の段階で競争性は確保されており、応札者が1者となった場合も入札を執行する。

（全員賛成で可決）



## 議案に対する討論

### 議第73号 京都市中・北部地域消防指令事務協議会規約に関する協議

**反対** 「統合では広域災害に対応できない」 …………… 紀氏百合子  
7市3町の人口43万人、面積3230.47km<sup>2</sup>の広大な地域での6消防本部28回線52人から1カ所12回線22人への統合は、広域災害時には交通の途絶などで態勢強化に時間がかかり、本部が被災により機能停止すれば10市町全体の機能が麻痺する。また、人員・財政の負担軽減や効率化最優先の統合は新たな市町村合併を促進するものだ。

### 議第63号～議第73号 令和2年度一般会計補正予算(第8号)ほか

**賛成** 「コロナ禍で各分野に予算措置」 …………… 吉見 茂久  
新型コロナウイルス感染症関連に係る支援に地方創生臨時交付金を活用し、生活者、事業者、災害対応も含め、各分野の実情をくみ取り、手当てされるべきところに必要な予算措置が講じられている。また、京都市中・北部地域消防指令事務協議会規約に関する協議については消防サービスの高度化と消防力の強化につながり賛成する。

## 議題74号・85号・86号 令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定 ほか

### 反対 「暮らし応援の後退、同和行政継続」 …………… 塩見卯太郎

一般会計は、支所職員の削減、就学援助受給者減少、介護用品のクーポン券対象者減少、同和行政の継続は問題である。後期高齢者医療保険事業会計は受けられる医療が差別される仕組みのため。水道事業会計は包括的民間委託方式の初年度目標に到達していないため反対である。

## 議題74号～議題88号 令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定 ほか

### 賛成 「新時代・福知山への前進決算」 …………… 田淵 裕二

令和元年度決算は、基礎自治体としての役割を果たし、安全で安心して暮らせる福知山市に向けて、特色ある五つの政策を柱として事業推進が行われ、歳入歳出ともに第6次行政改革の目標とする財政健全化の取り組みにより、実質収支が48年連続の黒字決算となったことは、高く評価するところであり、全議案を認定する。

## 市民の皆さんからの請願審査

### 請願第2号 「児童扶養手当法の支給要件の見直しを求める意見書」提出に関する請願

■請願者／合同会社 社会福祉士事務所つゆくさ 代表 田中 八洲男 氏

■目的／児童扶養手当の支給要件を前年の収入等によって審議するのではなく、直近の収入によって年収の見込み額を推定し、速やかに受給できるよう必要な措置を講じるよう求める。

#### ■請願賛成討論

「支援を必要とする世帯へ速やかに」 …………… 金澤 栄子

今回のコロナ禍において、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯は、経済的な困難に陥るなど大きな影響があった。ひとり親世帯が、児童扶養手当受給者と同水準まで収入が落ち込んだ場合、子育て負担や収入の減少に継続的な支援となるよう、速やかに受給できる支給要件の見直しが必要である。

#### ■請願反対討論

「確実な所得で判定することが必要」 …………… 吉見 茂久

コロナ禍の長期化に伴い、ひとり親家庭にさらなる支援が必要であることは同意する。児童扶養手当は、支給要件を前年の所得で審査している。請願では、コロナ禍で家計が急変しており、直近の所得で年収の見込み額を推定するべきとある。見込みで支給すれば所得確定後に返還も生じ得ることが考えられ、意見書提出には同意できない。

■議決結果／不採択

# 9月定例会の議決結果について

## ■全員賛成で可決・認定・同意となった議案

議第62号	献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言	議第79号	令和元年度休日急患診療所費特別会計歳入歳出決算の認定
議第63号	令和2年度一般会計補正予算(第8号)	議第80号	令和元年度公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第64号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第81号	令和元年度農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第65号	令和2年度国民健康保険診療所費特別会計補正予算(第1号)	議第82号	令和元年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第66号	令和2年度休日急患診療所費特別会計補正予算(第2号)	議第83号	令和元年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
議第67号	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	議第84号	令和元年度下夜久野地区財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定
議第68号	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	議第87号	令和元年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
議第69号	令和2年度病院事業会計補正予算(第3号)	議第88号	令和元年度病院事業会計決算の認定
議第70号	福知山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	議第89号	教育委員の推薦について(和田 大顕 氏)
議第71号	物品の取得(防災行政無線戸別受信機)	議第90号	人権擁護委員の候補者の推薦について(阪根 美智子 氏)
議第72号	物品の取得(小型動力ポンプ付積載車)	議第91号	人権擁護委員の候補者の推薦について(山崎 秀信 氏)
議第75号	令和元年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第92号	物品の取得(タブレット型端末 ほか)
議第76号	令和元年度国民健康保険診療所費特別会計歳入歳出決算の認定	議第93号	物品の取得(電子黒板機能付き大型提示装置)
議第77号	令和元年度と畜場費特別会計歳入歳出決算の認定		
議第78号	令和元年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定		

議決結果

議案	議決結果	会派別議員名(議決結果)										無党派													
		福知山市議会公明党			日本共産党市会議員団			蒼士会		大志の会			福知山未来の会			新政会									
		大谷 洋介	足立 伸一	吉見 茂久	吉見 純男	塩見 卯太郎	紀氏 百合子	中村 初代	金澤 栄子	野田 勝康	高橋 正樹	足立 治之	桐村 一彦	馬谷 明美	森下 賢司	田中 法男	小松 遼太	中嶋 守	柴田 実	田淵 裕二	大槻 泰徳	藤本 喜章	尾嶋 厚美	荒川 浩司	
議第73号	京都府中・北部地域消防指令事務協議会規約に関する協議	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第74号	令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第85号	令和元年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第86号	令和元年度水道事業会計決算の認定	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議願第2号	「児童扶養手当法の支給要件の見直しを求める意見書」提出に関する請願	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 ※ 芦田真弘議員(新政会)は議長職のため表決に加わっていません。 所属会派は、10月30日現在

## 12月定例会の予定(25日間)

※この会議予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を開催します。

- 11月30日(月) 本会議  
〔提案理由の説明(先行議決分)、質疑～委員会付託(先行議決分)、委員長報告～採決(先行議決分)、所管別委員会〕
- 12月1日(火) 本会議  
〔提案理由の説明(補正予算、条例等)〕
- 10日(木) 本会議  
〔質疑～委員会付託(補正予算、条例等)、一般質問〕

- 11日(金) 本会議〔一般質問〕
- 14日(月) 本会議〔一般質問〕
- 15日(火) 各所管別委員会〔条例・その他〕
- 16日(水) 予算審査委員会〔補正予算〕
- 17日(木) 予算審査委員会〔補正予算〕 討論・採決
- 23日(水) 本会議〔委員長報告～採決〕
- 24日(木) (会期)

# ここが聞きたい！ 9月定例会

## 一般質問

質問議員

### 各会派から19議員が質問に登壇！

- |                              |                              |                               |
|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 新政会<br>大槻 泰徳 議員           | 8. 福知山未来の会<br>小松 遼太 議員       | 15. 福知山市議会公明党<br>大谷 洋介 議員     |
| 2. 福知山市議会公明党<br>吉見 茂久 議員     | 9. 日本共産党福知山市会議員団<br>中村 初代 議員 | 16. 日本共産党福知山市会議員団<br>吉見 純男 議員 |
| 3. 日本共産党福知山市会議員団<br>紀氏百合子 議員 | 10. 新政会<br>田淵 裕二 議員          | 17. 福知山未来の会<br>田中 法男 議員       |
| 4. 蒼士会<br>高橋 正樹 議員           | 11. 新政会<br>尾嶋 厚美 議員          | 18. 福知山未来の会<br>中嶋 守 議員        |
| 5. 大志の会<br>桐村 一彦 議員          | 12. 新政会<br>藤本 喜章 議員          | 19. 日本共産党福知山市会議員団<br>塩見卯太郎 議員 |
| 6. 福知山未来の会<br>森下 賢司 議員       | 13. 蒼士会<br>足立 治之 議員          |                               |
| 7. 日本共産党福知山市会議員団<br>金澤 栄子 議員 | 14. 無会派<br>荒川 浩司 議員          |                               |

スマートフォンからもご覧になれます

録画配信中！

一般質問の  
録画配信は  
こちらから



※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

一般質問

### Q 市街化調整区域と市街化区域とは

### A 乱開発の抑制と良好な市街地形成



新政会  
大槻 泰徳 議員



跡地の利活用が待たれる、旧上六人部小学校

**問** 上六人部には、廃校になった小学校がある。この場所も市街化調整区域内であり、利活用の観点から大きく阻害しているのではないかと思われるが、見解は。

**答** 市街化調整区域は、市街化を抑制すべき地域を定めた法律であり、農林漁業の施設や周辺の公営施設に、市街化の恐れがない要件を満たす開発は認められている。これらを踏まえ上六人部小学校跡地利活用を、地域住民および希望される民間事業者と諸法令に基づき進めていく。  
(建設交通部長)

**問** 本社社屋と倉庫が六人部地域と三和地域にまたがり、建っている企業がある。六人部地域側では建築物の建て替えおよび増築は一切認められず、三和地域側は認められるという、相反する事象であり、非常に不合理だと考えるが、見解は。

**答** 三和地域と六人部地域では、都市計画法により土地利用規制に違いがあり、隣接した土地でも一体的な利用は規制されている。法令に沿った適切な土地利用をお願いしたい。  
(建設交通部長)

#### その他の質問

- 獣害対策の現状と課題について
- 緊急避難のための道路の早期開通について  
(中六人部笹場から下六人部小野線)

# Q コロナ禍で公立大学入学者確保は

## A 本市と大学双方で確保に力を注ぐ



来年度の入学者確保に向け、積極的に取り組む  
福知山公立大学

福知山市議会公明党  
吉見 茂久 議員



**問** 福知山公立大学は、来年度、200名の入学者確保に向け、コロナ禍でどのように取り組む予定か。

**答** 本年度の入学者は入学定員200名のところ、地域経済学部104名、情報学部108名、2学部合わせて212名であった。来年度の入学者確保について、コロナ禍で大人数が一堂に会する機会が設けられないなどの制約がある。そこで例年開催しているオープンキャンパスの規模を縮小して見学会を開催したほか、新たに希望者に対して入試担当者と一対一

のオンライン入学相談などを実施している。また、経済困窮する学生に対し、学生奨学支援基金を創設するなど、大学生への経済的支援制度を通じて安心して学べる大学をPRしている。本市においては引き続き北近畿の高校に私自らがトップセールスを行う予定にしているほか、小学校、中学校、高校と大学との連携を深めるべく、本年4月から教育連携顧問を配置し、例年以上に積極的に取り組んでいる。このように本市と大学の双方で、来年度入学者確保に向け、力を注いでいきたい。(市長)

### その他の質問

- 本市の少子化対策について
- コロナ禍における介護施策、福祉施設感染予防に関する取り組みは

# Q 特定健診受診率60%早期に達成を

## A 未受診者には勧奨通知をしている



令和2年度福知山市  
特定健診・がん検診のお知らせ (かわら版)

日本共産党福知山市会議員団  
紀氏百合子 議員



**問** なぜ特定健診の受診率がなかなか目標の60%に達しないのか。

**答** 40代50代は自分は健康だと思っている。また、通院している人は改めて健診は受けないことが多いようだ。

**問** (市民総務部長) 通院している人はその医療機関で特定健診を受けているのか。

**答** (市民総務部長) 特に案内はしていない。(市民総務部長)

**問** (市民総務部長) 集団健診に定員はあるか。

**答** (市民総務部長) 会場により異なるが、特定健診とがん検診を含め60人から120人だ。(市民総務部長)

**問** (市民総務部長) 受診率が目標に達しないのに定員を設けている。改善する考えは。

**答** (市民総務部長) 医師一人に30人を上限としている。定員を超えたときは別の日程や近くの医療機関を案内している。(市民総務部長)

**問** (市民総務部長) 糖尿病やがんの医療費が、国・府や同規模自治体に比べ高い。早期発見・早期治療のため特定健診・がん検診を無料にしたらどうか。

**答** (市民総務部長) 無料は考えていない。

**問** (市民総務部長) 受診料無料申請はマインバーがなければできないのか。

**答** (市民総務部長) 免許証などで本人確認できれば良い。

### その他の質問

- 会計年度任用職員の処遇について
- 夜久野給食センターの今後の活用について
- 補助金などの行政手続きの簡素化について (老人クラブの補助金について)

## Q 「宅配ボックス」設置に助成制度を

## A 国の実証実験の動向を参考に検討



蒼士会  
高橋 正樹 議員



戸建て住宅設置用宅配ボックス

**問** 新型コロナウイルス感染症によって人と地域の交流の機会が失われている。交流の場の再構築に向けての施策展開はどのように進めていくのか。

**答** まちづくり活動応援事業では、フェイスマシールドなどの予防対策経費も補助経費として認めて支援しており、新型コロナウイルスウィルス感染症対策室で相談できることなどを市民に発信していくことで不安の解消を図ってきたい。

**問** このような状況下で物流サービスは、配送の機会が増加しているが、

(福祉保健部長)

**問** 宅配ボックス設置に対し助成制度を設けることはできないか。

**答** 宅配ボックスの設置は再配達抑制で、配達業者と受取人双方に効率化や利便性が図れると考えている。加えて、配達業者と受取人との接触を避けることで、双方の感染リスク低下も期待できると考えている。

国はこれらのことを背景に宅配ボックスの普及を促す実証実験を始めたところで、助成制度については今後の実証実験の動向を参考にしながら検討していきたい。

(市長)

### その他の質問

- まちづくりの諸課題に対する効果検証について

## Q 災害時に備えたBCPは

## A 市民生活の維持を優先



大志の会  
桐村 一彦 議員

BCP（事業継続計画=Business Continuity Plan）とは、テロや災害、システム障害など危機的状況下で置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意し、生き延びられるようにしておくための計画。

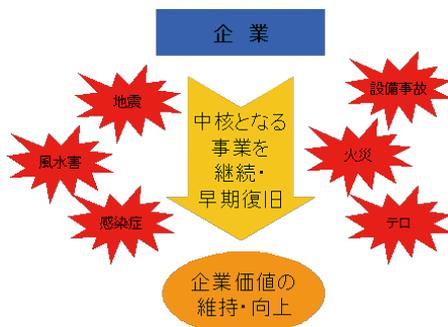


図 BCP(事業継続計画)の役割 (中小企業庁)

BCPとは

**問** 市庁舎内での感染症発生を想定したBCPは。

**答** 新型コロナウイルス感染症に関するBCPは、優先業務を選択し、他の業務にも派生させたものとしてしている。業務の優先度を決めた上で、各所属の適任者不在の場合、代行者の事前選任、人員不足に対する応援体制、在宅勤務、モバイルワーク、サテライトオフィス、テレワークの実施を計画している。市民生活の低下を招かないよう、業務体制を維持していきたいと考えている。

**問** 冬場に備えたBCPの策定は。

(市長)

**問** 冬場に備えたBCPの策定は。

**答** 感染対策防止策を徹底するとともに、随時BCPの見直しを行い迅速かつ的確な対応が継続できるように努めていきたい。

(福祉保健部長)

**問** 災害により発生する大停電へのBCPは。

**答** 福知山市地域防災計画「広域停電対策編」に基づき情報収集や被災者の支援対応を行うこととしている。職員を直接派遣するとともに、関西電力からの復旧見通しと被害状況などの情報収集に加え、警察やコンビニなどと緊密な連携を図り、市民生活維持に努める。

(危機管理監)

### その他の質問

- 地方創生に向けた諸施策（雇用対策）について
- 公共施設マネジメントの計画完全実施に向けて
- 有害鳥獣対策と進捗状況について

# Q 市道白線は計画的な引き直しを

## A 3カ年計画で修繕を実施していく



消えて見えなくなった市道の白線

### その他の質問

- ・介護が必要な状態に至らないための策は
- ・農地中間管理事業の現状とこれからは



福知山未来の会  
森下 賢司 議員

**問** 市道の白線や路面標示の現状認識はどうか。

**答** 交通量が多く整備後年月が経過した路線では、薄くなり目視しづらい状況もある。令和2年度、5年度で計画的に引き直しを実施している。

**問** 点検やパトロールの現状はどうか。

**答** 昨年10月に全市道点検した。また、2名体制で日常的にパトロールしている。

**問** 引き直しの優先度は、交通量の多い箇所、自治会要望や通学路点検により必要性がある箇所を優先的に実施している。

**問** 自治会要望にはどれだけ応えられているか。

**答** 昨年度は要望距離のうち74%実施した。残り26%は来年度には完了する。

**問** 見えなくなる前に計画的な引き直しが必要だと思うが、どうか。

**答** 安全確保の観点で引き直しは必要だ。3カ年計画で実施しており、点検で見つけた箇所は随時修繕したい。

**問** 今後の管理は。

**答** パトロール点検の中で早期発見・適切管理に努める。

(建設交通部長)

(建設交通部長)

(建設交通部長)

(建設交通部長)

# Q 市民ニーズに応える市民病院に

## A 待ち時間解消にむけ研究していく



築山を駐車場へ増設工事



日本共産党福知山市会議員団  
金澤 栄子 議員

**問** 病院玄関前の築山を取り除いて、80台の駐車場を造成する工事が始まっているが、バス運転手や送迎車、病院利用者に意見は聞いたのか。

**答** 12月完成の短期間工事のため、意見は聞いていない。

**問** 市民病院事務部長(市民病院事務部長) 会計支払いの待ち時間を短くしてほしいとの声がある。待ち時間の統計はとっているのか。

**答** 曜日や時間帯によりますが、平均10分程度となっている。

**問** 診療所などからの紹介状なしで市民病院の初診を受けたら「初診時保険外併用療養費」2970円必要だが、いつから始まり、金額はどのように決めるのか。

**答** 平成8年から200床以上の病院で徴収できるとされた。患者の負担度合いに配慮し、全国水準や府内状況を見て設定している。

**問** 子どもの「初診時保険外併用療養費」は無料にできないものか。

**答** 厚生労働省に問い合わせしたが、できないということである。

(市民病院事務部長)

(市民病院事務部長)

(市民病院事務部長)

(市民病院事務部長)

### その他の質問

- ・公立幼稚園・保育園の認定こども園化について
- ・民間宅地開発による交通安全や都市計画について

## Q おくやみコーナー設置の考えは

## A ニーズを把握し研究していきたい



他市で導入が進む「おくやみコーナー」  
(写真左は三田市、右は丹波篠山市)

※おくやみコーナー：市町村が死亡手続きをおこなうための専用窓口を設け、亡くなった方や遺族の状況に応じて必要な手続きを抽出し、申請作成の補助、受付、関係する課への案内等を行うワンストップサービスをする場。

福知山未来の会  
小松 遼太 議員



**問** 本市は例年、出生数の約1・5倍の約千人が死亡している。子育ては総合相談窓口があるが、死亡時はどんな手続きをしているか。

**答** 市民課で死亡届を提出された際に、市役所での手続きなどの案内文書を配り、後日必要な手続きを行ってもらう。亡くなった方の年齢や家庭状況などにより手続きは多岐にわたり、福祉保健関係では、各医療保険、年金、介護保険などがある。

**問** 来し、悲しい話を何度もする必要があるので。利用者視点に立った体制が求められるが、現体制の評価は。

**答** 一覧表を渡し、担当窓口を案内している。現在苦情は入っていないが、担当課が連携して、丁寧な対応をしていく。

**問** 他市で導入が進み、市民に寄り添い業務も簡素化でき、双方にメリットがある、死亡・相続時のワンストップサービス「おくやみコーナー」の設置は。

**答** 導入自治体、市民のニーズ、主な経費、職員配置などを含め研究をしていきたい。

(市長公室長)

(市民総務部長)

## Q 安心な暮らしを支える公共交通を

## A 地域住民の声を良く聞き再編する



公共交通はまちづくりの土台

日本共産党福知山市会議員団  
中村 初代 議員



**問** 大江地域の公共交通再編のための説明会では、市バスの路線は残してほしいとの要望が多かった。バスを実際に利用している人の移動をどう保障していくのが課題だが。

**答** 利用者が非常に少ない現状で、これまでと同じ市バスの運行は維持できない。利用者の声をできるだけ多く集約して、地域の皆さんと共に、より良い公共交通を考えていきたい。

**問** バスの代替交通としての公共交通空白地有償運送は、公共交通の位置付けで行政の役割は重大。

**答** 敬老乗車券は既存の公共交通の利用促進を図るため実施。今は考えていない。

**問** 地域に丸投げするようなことがあってはならない。住民組織でカバーできないところは支援するなど、行政として責任を持つ必要があると考えるが。

**答** 地域の力も借りて、運行形態、導入後の課題など不安を取り除き、地域と共に取り組んでいきたい。(建設交通部長)

**問** 利用者の負担軽減のために、公共交通空白地有償運送についても、敬老乗車券が使えるようにすべきと考えるが。

**答** 敬老乗車券は既存の公共交通の利用促進を図るため実施。今は考えていない。

(建設交通部長)

(建設交通部長)

### その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症に関わる支援について
- 資源のリサイクルについて

# Q 財源確保に、ふるさと納税強化を

## A 返礼品に新メニューを追加する



新政会  
田渕 裕二 議員

ふるさと納税金額の推移

出典：福知山市

年度	件数	金額	年度	件数	金額
2010年	6件	390,000円	2015年	132件	92,104,111円
2011年	24件	360,000円	2016年	10,718件	113,365,000円
2012年	28件	3,475,000円	2017年	8,233件	105,877,000円
2013年	19件	1,028,000円	2018年	5,802件	95,281,722円
2014年	39件	62,565,000円	2019年	7,356件	173,215,000円

年を追うごとに増加している  
「ふるさと納税」金額

### その他の質問

- スマートシティ構想の推進と方向性について
- 光秀公観光事業と福知山城周辺整備について

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的に経済苦境が広がる中、本市も歳入の税収減が予想される。財源確保に向けた「ふるさと納税」強化対策の取り組みは。

**答** 返礼品提供業者数を45社、返礼品目を133品に増やし、寄付額は増加している。特産品の鹿肉ハムを使用した特色ある「おせち料理」などに加え、農家民泊などの体験型の返礼品もメニューに取り入れた。新たに、市の課題や取り組みに対するクラウドファンディング型ふるさと納税を追加して寄付拡大に努めている。

**問** ふるさと福知山を離れて暮らしている皆さんが、心残りや気掛かりな事柄への代行支援サービスなど、安心と感謝を届ける返礼メニューの内容は。

**答** 家族と離れて暮らす高齢者の安全安心を24時間センサーでサポートする、見守り機能を搭載した機器の貸出や、空き家の管理・簡易清掃、郵便物の確認など、物品以外の支援メニューも追加したほか、お墓や土地の管理清掃についても寄付者のニーズに答えられるよう、新たなサービスなども追加して行きたい。

(市長公室長)

(市長)

# Q 通学路の安全・安心確保の現況は

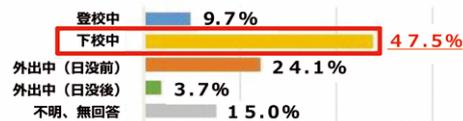
## A 関係者と地域が連携し情報を共有



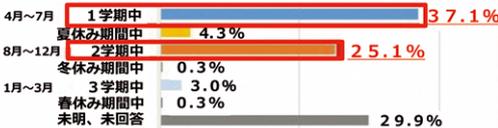
新政会  
尾嶋 厚美 議員

### ALSOKあんしん教室アンケート資料

Q 児童は、どの時間帯に被害に遭いましたか？



Q 児童は、いつごろに被害に遭いましたか？



ALSOKあんしん教室アンケート資料

### その他の質問

- 福知山市の自殺の現況に応じた具体的な対策について
- 子育てしやすい福知山市を更に発展させるための考え方について
- 福知山市内図書館の現況と今後の考え方について

**問** 通学路の安全・安心確保の現況は。

**答** 危険箇所の点検は、道路管理者、学校関係者、警察署、交通安全協会、自治会長会などが参加し連携しながら実施。安心・安全の取り組みは、集団下校時に教師が付き添いを実施。不審者の防犯対策として防犯ブザー配布、見守り隊の活動、保護者の皆さまには、不審者情報を速やかに周知し共有するための防犯メールの登録もお願いしている。

**問** 通学路上で不測事態(生理現象など含む)があった場合の対策・処置は。

**答** 「こども110番の家」や店舗・事業所・公施設など子どもたちが緊急時に活用できる場所を確認し利用できるよう学校からも協力をお願いし児童に徹底している。子どもたちだけの登下校は、上級生が下級生を助けるよう指導している。不審者やいたずらなど学校に連絡があった場合、すぐに現地を確認し必要があれば警察などと連携しパトロールを続けるなど日々の積み重ねによって安全・安心を確保するよう努めている。

(教育委員会理事)

一般質問

## Q コロナ禍での教育現場の対応は

### A 夏季休業短縮で授業日数13日回復



授業再開を待つ臨時休業中の小学校

新政会  
藤本 喜章 議員



**問** 学校休業措置による各教科の時間数の確保状況や、授業時間数の回復に向けた取り組みは。

**答** 授業時間数は年間の教育課程の中で回復することとし、臨時休業措置によって欠けた17日間の授業日数は夏季休業の短縮で13日間回復した。文部科学省通知では、その学年で教えきれない場合は次学年での指導も可能であるとの見解であるが、本市ではできる限りその学年で習うべき内容はその学年で履修することが望ましいと考えている。ただし、災害やさらなるコロナの流行などが発生

した場合には、その時の状況により適切な対応を検討したい。

(教育委員会理事)

**問** 教育委員会として教職員へのフォローアップ体制や予防対策は。

**答** 加配教員の追加配置、学校指導員の時間増、スクールサポータースタッフを配置し、教職員の支援に当たることとしている。また、教職員の働き方改革についても各校で積極的に進める。さらに感染予防対策として消毒液や空気清浄機など物品についても支給し、支援していく。

(教育委員会理事)

#### その他の質問

- 新しい避難所のあり方について
- 高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発症時の支援体制について

## Q 無形文化財の伝承と花火大会復活

### A 伝承重要、花火大会の声上がらず



福知山音頭と踊りの伝承に努める福知山踊振興会の皆さん(新規会員募集中)

蒼士会  
足立 治之 議員



**問** 本市の無形民俗文化財である福知山音頭や踊りについて伝承はなされていると思うが、現在の問題点は。

**答** 福知山踊振興会には後世への伝承に尽力していただいているが、ライフスタイルの多様化とともに、幼少期から福知山音頭と踊りに接する機会が少なくなり、踊振興会への新規入会も減少傾向にあることが課題だと考える。

(産業政策部長)

**問** 「福知山踊り」は、昭和25年に「歌と踊りのお国自慢大会」で優勝、同28年には「都道府県対抗民謡舞踊大会」で2位の記録を持つが、2013年の爆発事故以降、花火大会終了後の踊りは途切れた。

被害者遺族会盛本代表は、「花火大会再開には、二度と事故を起こさない責任ある安全対策が必要」と訴えているが本市の見解は。

**答** 市民または関係団体からの要望が上がっていないため花火大会の復活は考えていない。

(産業政策部長)

**問** 本市の責務は、日本一安全安心な花火大会を復活させることではないか。

**答** 花火大会の再開については、市民の理解とともに商工団体の支持や理解が必要。

(産業政策部長)

#### その他の質問

- 携帯電話不感地区の実態と災害対応について
- 本市小中学校の修学旅行の中止決定と代案について
- 本市の空き家の現状と将来展望について

## Q 訪問型サービスB型とは

## A 住民力を生かした地域の支え合い



「ゴミ出し」サービスのイメージ

(福祉保健部長)

**問** 訪問型サービスB型の内容は。実施主体と市が協働して開催し、個人情報を取り扱う上での注意点、高齢者の特性や対応サービスを提供する上での注意事項などを想定しており、研修の時期は現在検討中である。

(福祉保健部長)

**答** 介護保険の訪問型サービスB型は、なぜ必要か。住民主体による団体などに補助金を交付し、日常における洗濯や掃除、買い物代行などを地域の住民同士が支え合う事業。介護人材不足で、介護ヘルパーは要介護を伴う比較的軽度の方への支援に専念し、要支援など比較的軽度な方への生活支援をお願いしたい。財政の負担軽減も期待する。



無党派 荒川 浩司 議員

**問** 現在の進捗状況は。いくつかの地域団体やNPO団体において実施にむけ検討中。まず地域住民のニーズを把握する中で、その必要性を住民の皆さんに理解していただくための議論を進めている。市も、地域やNPO団体などの会議に参加し、今後も寄り添いながら早期実施に向けて支援していきたい。

(福祉保健部長)

### その他の質問

- 都市計画決定がされていない国道9号線の新庄から岩井への区間の都市計画は
- 弘法川樋門の操作水位の見直しについて、荒河堤防地域の調節池の活用は
- 新設された荒河堤防線から新音無瀬橋に向けた緊急避難道路の設置が必要では
- 土師地域のパーム油発電所の建設について、市の対応は妥当であったのか
- 大江地域の市バスの代替手段なしの減便や区間削減はどうか
- 福知山公立大学生の本市帰省時のPCR検査の実施を

## Q 臨時交付金約14億円の有効活用を

## A 3密対策、行政IT化などに活用



地方創生臨時交付金の活用事例集

### その他の質問

- デジタル強靱化社会の実現に向けて
- 新型コロナウイルスの感染防止のための「新しい生活様式」の定着について
- 女性目線の防災対策について
- 子宮頸がん予防ワクチンについて

**問** 新型コロナウイルス対策のための地方創生臨時交付金の活用内容の柱は。  
**答** 小・中学校の児童生徒に1人1台のタブレット型パソコン配備などを進める福知山市教育情報化整備事業、事業者を経済的に支援する福知山市小規模事業者等持続化支援事業や福知山市小規模事業者等店舗家賃負担軽減事業などに大きな事業費用を計上しているところである。(財務部長)

**問** 内閣府は、自治体と各分野の専門家、関係省庁をマッチングして事業の実施を加速させるため、オープンラボを設置されている。オープンラボへの登録の考えは。  
**答** 「地域未来構想20オープンラボ」については、行政のIT化、3密対策や事業構造改革など20の分野の専門家との連携を強化するため設置された。ウィズコロナ社会の新たな日常や自律的な地域経済の構築の加速につながるものである。本市としても登録に向けて進めていきたい。(市長公室長)



福知山市議会公明党 大谷 洋介 議員

## Q 市民病院のコロナ検査装置導入は

### A 9月下旬をめどに運用検査開始



日本共産党福知山市会議員団  
吉見 純男 議員



市民病院導入のコロナ検査装置

**問** 新型コロナウイルス感染症は、京都府で最も警戒を要する特別警戒基準に達した。季節性インフルエンザの流行期には、発熱などの症状を訴える方が大幅に増え、さらなる検査体制、医療提供体制の確保・拡充が求められる。福知山市市民病院での新型コロナウイルス検査装置の導入見通しと、検査能力について問う。

**答** 9月下旬をめどにランプ法運用による検査開始を予定している。PCR検査と同程度の精度とされており、診療の充実に大変有用と考えている。ランプ法による検出装置

を導入すれば、1日で最大56件の検査が可能と見込んでいる。

(市民病院事務部長)

**問** 期待される効果は。

**答** 医師がコロナウイルス感染症の疑いがあると判断した患者のほかに、全身麻酔手術を予定している患者や、出産を控えた妊婦を対象に実施していく予定。迅速に検査を実施することが可能となり、感染拡大防止効果が期待できる。

(市民病院事務部長)

**問** 新型コロナウイルス抗原検査キットの活用状況は。

**答** 100キット購入して、8月末現在で42件の検査を実施。

(市民病院事務部長)

#### その他の質問

- ・スーパーシティ導入について所見を問う
- ・持続可能な三和荘の運営について問う

## Q 森林経営管理制度の取組の方法は

### A 観音寺地区の意向調査から始める



福知山未来の会  
田中 法男 議員



意向調査モデル地区となった  
観音寺地区の集落と山林

**問** 森林経営管理制度を進める上での課題は。

**答** 森林の境界が明確でないこと、相続登記がされておらず、森林所有者が不明であることなどがある。(産業政策部長)

**問** まず意向調査が必要となるが福知山市では。

**答** 森林情報の整理が完了した観音寺地区をモデル地区として選定し、昨年度から実施している。(産業政策部長)

**問** 今後の方向性は。

**答** 引き続き意向確認を進めるとともに、経営管理権集積計画策定も進めたい。(産業政策部長)

**問** 森林環境税・森林環境譲与税の用途は。

**答** 「森林の整備に関する施策・森林の整備を担うべき人材の育成および確保その他の森林の整備の促進に関する施策」などの費用に充てることになっている。(産業政策部長)

**問** 今後行おうとする施策のあり方は。

**答** 森林環境譲与税を長期的・安定的財源として、森林経営管理制度や林道・作業道の基盤整備などソフト・ハード両面の施策を展開し、森林の持つ公益的機能を発揮させたい。(産業政策部長)

#### その他の質問

- ・農業用ため池管理保全法の概要について
- ・国道改修にかかる同盟会の活動について

## Q マイナンバーカードの機能は

## A 健康保険証として利用を開始



マイナポイント特設ブース（市役所本庁1階）

福知山未来の会  
中嶋 守 議員



**問** 7月末時点で全国の総人口に対する交付率は、国の発表で17・5%だが、福知山市民のマイナンバーカードの交付率は。  
**答** 地方公共団体情報システム機構が発表している令和2年8月末時点での本市における交付枚数は1万2759枚で、令和2年1月1日の本市住民基本台帳登録者数7万7727人に対し、16・42%であり、京都市内26の自治体の中では、17番目の交付率である。（市長）

**問** 制度ができて5年間たっても、全国民、市民に普及していない原因は。  
**答** 身分証明書としての利用については、運転免許証を利用されている方が多く、行政機関が行う付加サービスや電子申請については、利用できる種類が限られている。そのため利用する機会が少なく、普及していない大きな原因となっている。（市民総務部長）

**問** マイナンバーカードに健康保険証の機能が付くと聞いているが。  
**答** 健康保険証としては、全ての医療保険において、令和3年3月から順次始まる予定となっている。（市民総務部長）

### その他の質問

- 小動物（犬猫等）の死後の取り扱いについて
- 安心安全な防犯のまちづくりへの取り組みについて

## Q パーム油発電で公害調停の所見は

## A 騒音・悪臭対策の調停に対応する



「土師の環境守って」の住民パワー

日本共産党福知山市会議員団  
塩見卯太郎 議員



**問** 107人の住民による騒音・悪臭の公害調停が京都府公害審査会に提出されたが、市の被申請人としての対応は。  
**答** 市に関わる調停事項について市の考えを説明し、調停人の調停に対応していきたい。（市民総務部長）

**問** パーム油発電は経済産業省のFIT法で認定されているが、計画ガイドラインでは悪臭・騒音など住民の生活に支障を与えないよう適切な措置を講ずるよう求めているが。  
**答** FIT法の審査は経済産業省のため、市とし

ての見解を述べる立場がない。（産業政策部長）

**問** 今後、事業者に対して再稼働前に臭気・騒音・低周波など、どのように改善を求めていくのか。また地元の生活不安に対する協議はどのようにするのか。  
**答** いままでも事業者に改善対策を実施するよう要請してきた。事業者からは再稼働する場合、地元自治会、本市に連絡すると聞いている。このときは改めて改善対策の状況を現場に行って確認し対応していく。（市民総務部長）

### その他の質問

- 近年頻発する災害対策について
- 文化ホール、スポーツ施設の整備について市長の所見を問う



# まちづくりと交流拠点施設について 三和地域協議会と出張委員会 治水対策、災害復旧の管内視察 計画通り進んでいる

活動日 8月21日(金)

三和地域協議会の松下会長、岡部事務局長・塩見同次長と産業建設委員8名が参加して、三和支所出張委員会を行った。活動実績の中から得られたリアルな報告と意見交換となった。地域協議会より出された意見の概要を報告する。

## 移住定住

移住希望者には自治会ルールを提示して事前のマッチングをしっかりとやるのが大切。三和で移住ができなくても夜久野、大江地域などであったらマッチングできる可能性もあるので、市として各地域と連携を取りながら取り組むことが必要と考える。



(左から岡部さん・松下さん・塩見さん)

## 公共交通空白地有償運送

重大事故が起こった時に協議会が支えきれると言いきれない。市の交通政策として示談交渉に顧問弁護士をすぐに派遣することなど、トータル的にカバーするような手立てが必要となる。

## 地域協議会の運営

役所の仕組みを全く知らない人ばかりで地域協議会を運営するのは難しい面がある。行政と行政OBの協力が不可欠。

## 地域拠点施設の運営

三和荘は、三和地域のアイデンティティとして、住民の拠り所となっている。そういうものを守りたいと思っている。

## 治水対策など「管内視察」

活動日 10月20日(火)

福知山市内の治水対策として整備を行っている法川、弘法川流域の調整・調節池など、谷河川の災害復旧(土砂ダムの)の現場踏査を行った。工事は予定通り進捗していた。



谷河川砂防堰堤

## 議長記者会見を開催

議会基本条例の検証・評価結果を発表

開催日 8月24日(月)

議会基本条例に基づき、議会からの情報発信として、議長による記者会見を開催しました。

4年ぶりの開催でしたが、多くの記者クラブの皆さんに出席していただきました。内容は施行から6年が経ち、今回初めて実施した議会基本条例の検証評価結果について発表しました。

議長は「これまでの具体的な取り組みの実績に基づき5段階評価した結果、8割以上が高評価になった。一方、今後の改善が必要となった約15%の部分について、新たな目標を掲げて、今後も議会活動の成果を、『より分かりやすく、市民に直接伝えること』また『市政に還元すること』を念頭に置いて、議会活動を行う」と説明しました。

記者からは「高評価なのに、さらに目標や改善が必要か」と質問があり、議長は「条例施行からさまざまな社会状況が変化する中で市民が求めているものも変化し、よりスピード感のある情報公開など今できることから進めていきたい」と答えました。



※検証結果の概要は22・23ページに掲載しています。

## 編集後記

今年度は、予想もなかった新型コロナウイルスの影響で、飲食業を始めとする、産業全般に大きなダメージを与え、いまだ回復に至っておりません。

来年度は本市の財政事情も、大変厳しい状態になると思いますが、重要な政策課題へ予算措置を講じて、メリハリの利いた予算を意識する必要があります。

そういった議会での議論を議会だよりで、分かりやすく伝えていけるよう努めていきます。

(広報広聴委員会)



# 「議会」を目指して6年間の検証 条例の検証評価結果～

## 基本理念の達成に向けて

1 (ACTION) 条例に基づく議会の活動の実績



2 (CHECK) 実現できているかどうかを検証



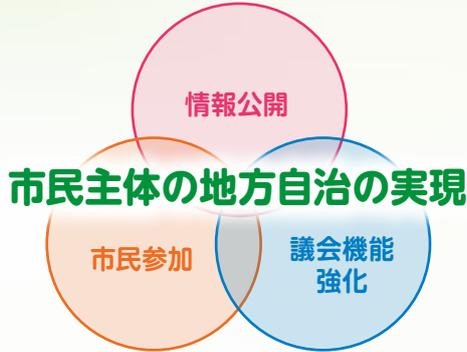
3 (STEP UP) 今後のあるべき姿

平成24年12月に制定し、平成25年4月1日から施行した福知山市議会基本条例が6年を経過する中で、これまでの取り組みを振り返り、「市民に信頼され評価される議会」を構築する基本理念の達成に向けて、議会運営が条例の目的、原則などに即して実践されているかどうかを検証しました。その結果8割以上が高評価となりましたが、さらに、市民の皆さんに信頼され評価される議会を目指し、新たな目標を立てて活動してまいります。

### 検証の経過・方法

(経過) ●議会改革検討会議の検証  
令和元年6月26日～12回、開催  
●議会改革先進事例の調査  
平成30年2月5日～5回、実施

(方法) ●検証方法 自己評価



## 1 (ACTION) 条例に基づく議会の活動の実績

1) 情報公開の推進

- 議案賛否の公開
- 政務活動費の使途・収支報告の公開
- 役職選出にかかる所信表明会の実施
- 委員会審査等ライブ中継・録画配信の導入
- 議長の議会広報活動



市長に政策提言

2) 市民参加の推進

- 議会報告会
- 出張委員会の実施
- 行政視察研修報告会の実施
- 高校生フレッシュ議会
- 議員定数を考える市民意見交換会
- 傍聴者への取り組みの充実



高校生フレッシュ議会

3) 議会の機能強化

- 議決事項の充実
- 議員研修の充実
- 災害発生時の議会の対応
- 請願審査の充実
- 自由討議を踏まえた意見・提言(予算および決算審査委員会)
- 市議会から市長へ政策提言(議会政策検討会議の設置)
- 議会ICT化の推進(タブレット端末、議場スクリーンの活用)

議会基本条例の検証

福知山市議会基本条例の検証評価結果の詳細はこちらから

# 「市民に信頼され評価される」 ～福知山市議会基本

## ② (CHECK) 実現できているかどうかを検証

57つの条文のうち、「検証・評価」の対象34条

(5段階で評価)

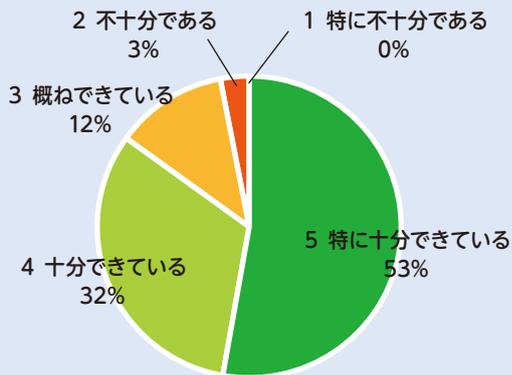
5	特に十分できている	18個
4	十分できている(8割以上の達成度)	11個
3	概ねできている(7割程度の達成度)	4個
2	不十分である(5割未満の達成度)	1個
1	特に不十分である	なし



議会報告会



本会議場スクリーン活用



■ 5 特に十分できている    ■ 4 十分できている  
■ 3 概ねできている        ■ 2 不十分である  
■ 1 特に不十分である

### 高評価となった主な項目

(「5」及び「4」の計が全体の85%)

傍聴者への資料提供や閲覧、スクリーン投影資料の活用による分かりやすい本会議の運営、また議会内にとどまらず、市民の身近に出向いた議会活動である議会報告会および出張委員会の開催、さらに行政視察研修報告会・所信表明会・請願審査のライブ中継など開かれた議会運営、また政務活動費の用途をインターネット公開するなどの透明性の高い情報公開を行っています。

今後の改善項目

新たな目標へ

## ③ (STEP UP) 今後のあるべき姿

新たな追加  
目標設定

### ① 情報公開

- ・情報公開の手法や媒体について、適宜追加や改善を行う(SNSなど)
- ・政務活動費を活用する視察や研修の予定を実施前に公表
- ・議長記者会見の定期的な開催

### ② 市民参加

- ・市民と双方向で行政施策について議論できる環境をつくる(議会モニター制度の導入など)
- ・若年層に対する議会活動へのアプローチ
- ・さらに傍聴しやすい環境づくり(休日夜間の開催・バ

リアフリー化の推進など)

### ③ 議会の機能強化

- ・議会活動を分かりやすく市民に還元する取り組みとして、自由討議の充実による政策的条例の議員提案
- ・市政へのチェック機能強化として、議会への説明時期、議決事項の整理、議会からの政策提案に対する施策への反映状況の確認や評価のしくみづくり
- ・福知山公立大学などと連携した専門的知見の活用や他の市議会との連携
- ・災害、感染症などにより議員が参集できない場合の体制づくり

議員の任期が終了する年の3月末までの約4年間を検証・評価のサイクルとし、次回は令和4年度下半期に検証・評価を行うことになりました。

# 「元気やで福知山！」

No.35

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：荒川 浩司 ・ 金澤 栄子

## 市民の思いをシェア ネットワークをシェア 解決をシェア

福知山市自治基本条例の設置にむけ、市内各地で説明会が開催された中、福知山公立大杉岡秀紀准教授の講演会が開催されました。「まちづくりは地域の中で」と問題意識を持っていた平野町自治会長の犬野森志さん、岡ノ二町自治会長の森孝道さん、前寺町自治会長の西利明さんが講演会で出合い、市民的課題を住民が主体となり、

### 設立のきっかけは



左から大野さん・森さん・上野さん

令和元年8月に設立し、1年を経過した「シェア福知山会議」。代表の森孝道さん、副代表の大野森志さん、スタッフで福知山公立大学生の上野裕也さんにお話を伺いました。

### 「シェア福知山会議」とは

問題意識・課題解決の知識やノウハウ・ネットワークを共有する会議との意味で名づけました。市民の市民による市民のための、これまでにないプラットフォーム（動かすための土台となる環境）で、市民的課題を共有し、情報交換し、持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

### 活動内容は

設立にあたっては、市のまちづくり推進課の補助も受け、第1回目となる設立記念講演会を開催したところ、予想を超える参加者。2回目講演会は、関心のあるテーマ『自主防災』で開催。自主防災は、シェア福知山会議の分科会として動き出しています。  
3回目の講演会を目指



手作りマスクの入った設置箱

### 手作りマスク「ふくちやマスク」設置箱

必需品となったマスクが手に入らない状況になり、手作りマスク作成とマスク材料提供を市民の皆さんに呼びかけ、出来上がったマスクを設置箱から必要とする人が持ち帰る『ふくちやマスク』に取り組みました。「絵に描いた餅？」と心配していました。2千枚が必要とする人に届けられました。シェア福知山会議は、京都北都信用金庫本店・支店の協力を得ることと、記名や一言書き込む用紙、ゴムひも200m準備しただけで

### 今後の活動は

延期になっていた第3回講演会を11月7日に開催予定しており、テーマは『地域公共交通』です。活動基盤を確保するため事務所やスタッフの設置も予定しています。自主防災の分科会のように、次は公共交通（有償運送）・福祉（地域の支え合い）と分科会を設置し、各地域で「自主防災・移送・福祉」の事業を立ち上げたい意向をお持ちの地域に、そのノウハウを伝えさせていたいただき、福知山市全域における自立した地域協議会の設置においても、行政や福知山公立大学とも連携しながら、住民自治の確立を目指していきます。

シェア福知山会議

【お問い合わせ】

0773-2218036

代表 森 孝道さん

広告

社会福祉法人 みのり福祉会  
理事長 芦田 道祥

**みのり保育園**  
福知山市宇内記789-1 ☎23-3445

**修斉保育園**  
福知山市宇内新庄111 ☎22-4653

ROYAL HILL  
HOTEL ROYAL HILL FUKUCHIYAMA & SPA  
阪急阪神第一ホテルグループ

＊温泉・宿泊  
Tel.0773-27-5000

＊宴会  
Tel.0773-27-0660

〒620-0857 京都府福知山市宇内師小字澤居山176番地  
<http://www.royalhill-fukuchiyama.com>